

# 「はなごよみ」のスペースへ お越しくださってありがとうございます。

おかげさまで二回目のサークル参加となりました。

昨年冬の初めての個人誌「どうして女の子のイラストばかり描くの？」(初版はコピー本)は、大変ご好評いただき、感謝しています。今回は初の試みとして、しっかりした製本のオンデマンド印刷で第二版および新刊を発行いたします。

実は、私は絵は得意な方ではありません。一年前の挿絵は、正直、全部差し替えようかと思いましたが、今回は新刊の方に精力を集中し、一部のみ描き直すにとどめたこととお断りいたします。



さて、今回の新刊は「どうしてカノジョをつくろうとしないの？」と題して、「非モテ」や「非婚」をめぐる社会問題について扱っています。

「20 ページくらい書ければ上出来」という当初のもくろみはどこへやら、いざ書き始めると36 ページの冊子になってしまい、でもまだ書き足りない程、本当に奥の深いテーマです。本当に、書きたくても書けなかった事がまだまだ多いのが心残りです。しかし、「なるほど!」「いや、これは違うんじゃないか？」など、この問題について考えるきっかけになれば幸いです。

本日は、お忙しい中、また寒い中、お越しくださって、本当にありがとうございました。

押井 徳馬

[osito2007@bear.plala.or.jp](mailto:osito2007@bear.plala.or.jp)

<http://kan-chan.stbbs.net/>

<http://d.hatena.ne.jp/osito/>

## どうして大人なのに「〇〇男子」？

「メガネ男子」や「草食男子」など、最近は「〇〇男子」という言葉が流行しています。

しかし、「あれ？『男子』って、男の子供って意味じゃなかったっけ？」と疑問に思っている人も多いのではないのでしょうか。

実は、「男子」は子供に使うこともあれば、大人に使う言葉でもあります。「男子の本懐」（本懐とは本望の意味）とか「男子家を出（いず）れば七人の敵あり」という言葉もありますが、立派に成人した男性、とか、男らしく勇ましい男性という意味で使われます。似たような例では、「日本男児」とか「九州男児」の「男児」とか、「健児」「風雲児」といった言葉の「児」も、子供という意味ではありません。

さて、「女子」という言葉も、「男子」と同じく、子供に使う場合もあれば、大人に使う場合もあります。

実はこの話題を出してみたのは、「どうして女の子のイラストを描くの？」の表紙裏にある、このイラストのフォローです。「女の子」は「女子」と違って、普通は年若い女性にしか使われません（「男の子」もそうですね）。このおばあちゃんのセリフの「元 女の子」というのは、考えてみると、すごくデリケートな表現です。もし「年配の女性を馬鹿にしているのでは？」と感じた方がいらっしゃったら、ごめんなさい。

このおばあちゃんのセリフは、女の子のイラストばかり描いている私、作者に対する皮肉が隠されているのです。顔はニコニコしていても、心の中では「どうせ私を若い女の子からは仲間外れ扱いのつもりなんでしょ、ブンッ！」とやきもちを焼いていたりします。

でも本当は、私は女の子のイラストだけでなく、おばあちゃんのイラストを描くのも好き。残念ながら今回の新刊ではまだまだ登場回数が少ないですが、裏表紙に載せてあげましたよ！ 今後も機会があればちょくちょく描いていきたいです。

ところで、「女の子」というと、昭和時代、会社で働く OL は上司に「女の子」としばしば呼ばれていたものですが、今ではめったに見なくなった光景です。確かに、いい年した大人を「女の子」と呼ぶのは、ある意味「カジュアル」で「馴れ馴れしい」表現なので、会社ではふさわしくないかもしれません。「男子」「男児」「女子」「男の子」「女の子」といった表現をちょっと考えてみるだけでも、結構奥深いものです。



---

## ネットで実名を名乗らないのは、やましい証拠？

---

「インターネットでは、実名を名乗る事を義務化すべき」と主張する人がいますが、本当にそうでしょうか？

・実名を名乗って平気で嫌がらせする人には無意味。しかも、そういう人に限って、たちが悪い。

・ネットの外で「匿名の卑怯者」にストーキングや嫌がらせされるリスクは、むしろ高くなる。

「犯人はネットではただ見てるだけで、何も発言しないけど、陰でコソコソ根も葉もない噂を立てていて、家族や会社やご近所さんの耳に入る」、というケース、耳にしませんか？

・法律を破ってでもアングラで、あるいは海外サーバを使って匿名で嫌がらせする連中に対しては無力。

・被害者を騙った連中が、個人情報を手に入れてしまうリスクもある。

「自分は被害者だ」と嘘を吐けば、ストーカーや悪徳企業等が、相手の個人情報を取得できてしまうとしたら、怖いですね。

それに、本当の被害が発生した時、加害者が本当の氏名や住所を登録しているという保証はあるでしょうか。

加えて言うなら、犯人が他人のネット回線を乗っ取って嫌がらせをした場合、冤罪を晴らすのは困難です。

・そもそも、個人情報を「知る権利」のあるのは、権限のある少数の人間だけで十分。

「ひき逃げや犯罪の防止のため」といっても、自動車のナンバープレートに所有者の実名と住所と電話番号まで記載するのは行き過ぎです。「正当な理由がある」人でも、ナンバーさえあれば十分ですが、それと同じです。

そうです、実名は、(警察やプロバイダや掲示板・ブログ等のサービス提供者のような)「知る権利」のある人が知っていれば十分です。事実と反する中傷を広める人やストーカーや変質者のような「知る権利」のない人にまで公開するのは、それなりのリスクが付いて回るので、特に女性や子供にはおすすりできません。

「ネットでは皆が実名を公開すべきで、そうすればネットで中傷するような人が少なくなる」、というのは、はっきり言います、夢見過ぎです。そういう決まりができたところで、あまりにもザルなので、むしろ今より被害がひどくなる事は目に見えています。

## どうしてアニメオタクとアイドルオタクは仲が悪いの？

むしろ、私も非常に疑問です。「どうしてアニメオタクとアイドルオタクは、仲が悪くなくちゃいけないの？」と。

アイドルオタクは「アニメなんてただの絵で、実在しないだろう。本物の人間が一番いいのに、どうして絵という『代用品』に走るの？」と言うかもしれません。一方アニメオタクは「アニメキャラはウソじゃないし、年を取らないし、男性スキャンダルとも無縁で、永遠の『俺の嫁』なのに、どうしてそんなに生身の人間にこだわるの？」と反論するでしょう。

秋葉原を見てもそうです。アニメオタクは、パソコンオタクを兼ねていることが多いのですが、AKB48とかアキバ系アイドルとなると無関心な事が多く、一般的にメイドカフェも嫌いな人をよく見かけます。「秋葉原にメイドカフェは要らない、古き良き秋葉原を返してくれ」と言います。

でも、ちょっと考えてみてください。アイドルに関心がなく、アイドルオタクが好きではないアニメオタクでも、アニメ声優だけは例外で、アイドル視しているのではないのでしょうか。

それに、アニメキャラも、生身の人間のアイドルも、「カメラの前ではみんなに期待されたキャラクターを演じている」という点では同じではないでしょうか。ただ、アニメキャラは「ただの線や絵の具が生身の人間に近づこうとする」、人間のアイドルは「生身の人間が、いわば『キャラクター化』する」という、それぞれ逆方向の道をたどっているわけですが、私個人は、どちらが優れていてどちらが劣っているとは思いません。どちらも、それぞれの良いところがあるように感じます。

こちらへんに関しては、「ムスメラウンジ」発行の同人誌「アイドル領域」(今回委託販売)でもっと詳しく扱われているはずですので、興味のある方は是非お読みください。最近では「二次元」の世界でも、「初音ミク」に代表されるボーカロイドや、「アイドルマスター」というアイドル育成ゲームなど、新しいアイドルが登場していますが、三次元アイドルファンの視点を知ることで、新たな発見がきっとできるはずです。

話は変わって、最後に、私の新刊の「『どうして結婚しないの』と聞かれたら？」という章に書き忘れていたネタを追加しておきます。

「まあ、ぶっちゃけ、自分はアイドルだし、結婚したらみんな残念がるんだよね」

もちろん、このネタを使って良い相手は、洒落がわかる人限定ですけどね……